

新技術・情報名	マルチ樹における被覆資材の特性
場 所 名	長 崎 県 果 樹 試 験 場
<p>1. 成果の内容</p> <p>1) 技術・情報の内容及び特徴</p> <p>フィルムマルチには何種類もの資材があり、資材間での通気性の差や材質の違いにより果実品質に差が出ることが考えられる。そこで、岩崎早生を用い被覆資材とポテンシャル及び果実品質との関係から品質向上に有効な被覆資材を検討した。</p> <p>(1) 期間内ポテンシャルの変化はB（レインパス）、シルバーポリが他の資材に比べ、8/20～9/3までの変化が小さかった。</p> <p>(2) 糖度はA（ESシート）が他の資材に比べ、1～2度低く10.8だった。酸含量はシルバーポリが他の資材よりも低く、1.12だった。</p> <p>(3) 果皮色は、資材による差は見られなかった。</p> <p>2) 技術・情報の適用効果</p> <p>通気性資材は、水分ストレスがかかりやすいので糖度上昇の効果はあるが、酸含量も高くなり、過乾燥の恐れもある。</p> <p>3) 適用範囲</p> <p>マルチ栽培園</p> <p>4) 成果の利活用・普及指導上の留意点</p> <p>通気性の資材は樹に水分ストレスがかかりやすいので降雨が少ない場合には灌水しないと樹勢が低下することがある。</p>	

2. 具体的データ

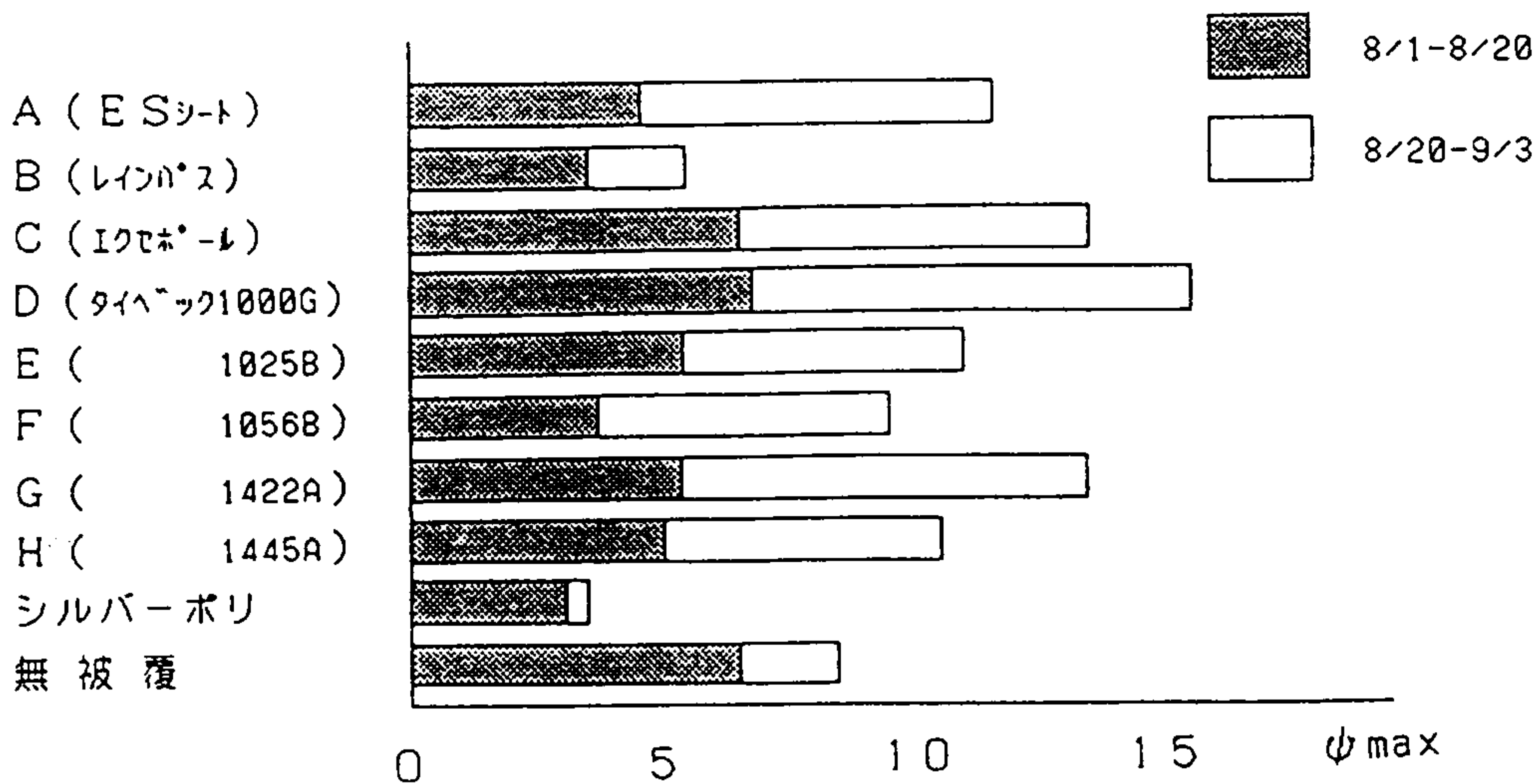


図1 被覆資材の種類と期間内ポテンシャルの変化

表1 マルチ資材と果実品質及び果皮色（岩崎早生、10月15日収穫）

	糖 度	酸 含 量 (g/100ml)	果皮色(果頂部) a/b値
A (ESシート)	10.8	1.27	0.229
B (レインパス)	11.8	1.25	0.232
C (エクセポール)	11.8	1.23	0.229
D (1000G)	12.1	1.34	0.226
E (1025B)	12.0	1.36	0.233
F (1056B)	11.7	1.26	0.227
G (1422A)	12.6	1.31	0.225
H (1445A)	12.1	1.36	0.228
シルバーポリ	11.8	1.12	0.224
無被覆	11.4	1.23	0.242

3. その他特記事項

担当部科名：常緑果樹科

研究課題名：温州ミカンの高品質果実生産技術の確立

研究期間：平成元年～5年

発表資料名等：平成元年、2年、3年度長崎県果樹試験場業務報告